

エコアクション21 相互認証版環境報告書

環境報告書

活動期間

(2021年4月 ~ 2021年8月)

2021年 9月

株式会社吉野興産

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 吉野興産
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役社長 光友 篤史
- (3) 所在地 : 三重県津市戸木町焼野5416番地の1
- (4) 事業内容 : 1. 産業廃棄物の収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、
産業廃棄物処分(中間処理)
2. 一般廃棄物の収集運搬
- (5) 資本 : 30,000,000円
- (6) 沿革 : 1995年10月 有限会社吉野興産設立
1995年12月 三重県・愛知県産業廃棄物収集運搬業許可取得
2001年3月 三重県 処分業許可取得
2001年6月 株式会社に組織変更
2014年4月 代表取締役 交替
- (7) 事業の規模
- ① 売上 : 458,255,771円 (2020年度)
- ② 従業員数 : 25名(内 パートタイマー2名)
- ③ 敷地面積 : 延床面積
- ・本社・事務所 敷地面積:277㎡ 延床面積:173㎡
 - ・中間処理施設 敷地面積:1,109㎡ 延床面積:309㎡
 - ・積替え保管施設 敷地面積:562㎡ 延床面積:141㎡
 - ・駐車場 敷地面積:1,822㎡
- (8) 許認可一覧と許可品目

1) 産業廃棄物関係

許可の内容	有効期限/許可行政	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 許可番号: 第02414035812号	有効期限: 平成30年1月23日 ～ 平成34年12月3日 許可行政:三重県	廃プラスチック類、ガラスくず等、がれき類の3種類(石綿含有産業廃棄物を含む。)(積替え・保管を含む。) 汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、燃え殻、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、銧さい、ばいじんの14種類(積替え・保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02300035812号	有効期限: 平成30年1月22日 ～ 平成34年12月12日 許可行政:愛知県	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、銧さい、がれき類の14種類(積替え、保管を除く)

産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02100035812号	有効期限: 平成27年9月20日 ～ 平成34年9月19日 許可行政:岐阜県	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の10種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02501035812号	有効期限: 令和2年10月26日 ～ 令和7年10月25日 許可行政:滋賀県	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の8種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02900035812号	有効期限: 平成27年2月16日 ～ 令和4年2月15日 許可行政:奈良県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の7種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02601035812号	有効期限: 令和3年2月19日 ～ 令和8年1月25日 許可行政:京都府	廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の8種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02700035812号	有効期限: 令和2年11月24日 ～ 令和7年11月23日 許可行政:大阪府	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の11種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第03000035812号	有効期限: 令和2年11月6日 ～ 令和7年11月5日 許可行政:和歌山県	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の7種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第02802035812号	有効期限: 平成31年3月17日 ～ 平成36年3月16日 許可行政:兵庫県	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の9種類(積替え、保管を除く)
産業廃棄物収集運搬業 許可番号:第01700035812号	有効期限: 令和2年12月3日 ～ 令和7年12月2日 許可行政:石川県	汚泥(無機汚泥に限る)、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の8種類(積替え、保管を除く)
特別管理産業廃棄物 収集運搬業 許可番号:第02454035812号	有効期限: 平成27年11月19日 ～ 平成34年10月19日 許可行政:三重県	特定有害燃え殻、特定有害汚泥、特定有害廃油、引火性廃油、特定有害廃酸、腐食性廃酸、特定有害廃アルカリ、腐食性廃アルカリ、特定有害ばいじん、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿(積替え、保管を除く)

特別管理産業廃棄物 収集運搬業 許可番号:第02350035812号	有効期限: 令和元年9月9日 ～ 令和6年8月7日 許可行政:愛知県	特定有害廃石綿等(積替え、保管を除く)
産業廃棄物処分業 許可番号: 第02424035812号	有効期限: 平成30年3月29日 ～平成35年3月28日 許可行政:三重県	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く。)紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等 (石綿含有産業廃棄物を除く)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く。)上記品目は水銀使用製品等産業廃棄物を除く。

2)一般廃棄物関係 他

許認可の事業	市町村	許可番号	許可年月日	許可期限
一般廃棄物収集運搬業	津市	1488号	令和2年3月16日	令和4年3月31日

・積替え保管

所在地及び面積	産業廃棄物の種類	許可行政
津市戸木町字焼野5420番地 (面積 : 141㎡) (保管上限 : 廃プラスチック類 60m ³ 、 ガラスくず等 60m ³ 、がれき類 30 m ³)	廃プラスチック類、ガラスくず等、がれき類	三重県

(9)取扱い産業廃棄物

・廃棄物の収集運搬実績

収集運搬実績	単 位	2018年度	2019年度	2020年度
一般廃棄物	t	0	0	0
産業廃棄物	t	8,062	8,733	11,417
特管産業廃棄物	t	4	460	8

※一般廃棄物の許可はありますが、2018年～2020年度の実績はありません。

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	台数	最大積載量(kg)	備考
脱着装置付コンテナ専用車	7台	3,900～7,900	一般廃棄物・産業廃棄物・特管産業廃棄物
脱着装置付コンテナ専用車	6台	7,000～14,000	産業廃棄物、特管産業廃棄物
キャブオーバ	3台	2,750～3,500	産業廃棄物、特管産業廃棄物
軽トラック	1台	350	一般廃棄物・産業廃棄物・特管産業廃棄物
軽バン	1台	350	産業廃棄物、特管産業廃棄物
ウイング車	1台	14,000	産業廃棄物、特管産業廃棄物

・中間処理実績

処理実績	単位	2018年度	2019年度	2020年度
中間処理量(破碎等)	トン	9,001	9,597	9,563

・中間処理施設の種類及び処理能力

・処理施設(設備)

破碎機 : NC工業 NCM-P-V2 1100型、諸岡 MC-2000
 重機 : コベルコSK50SR、コベルコSK125SR 3台

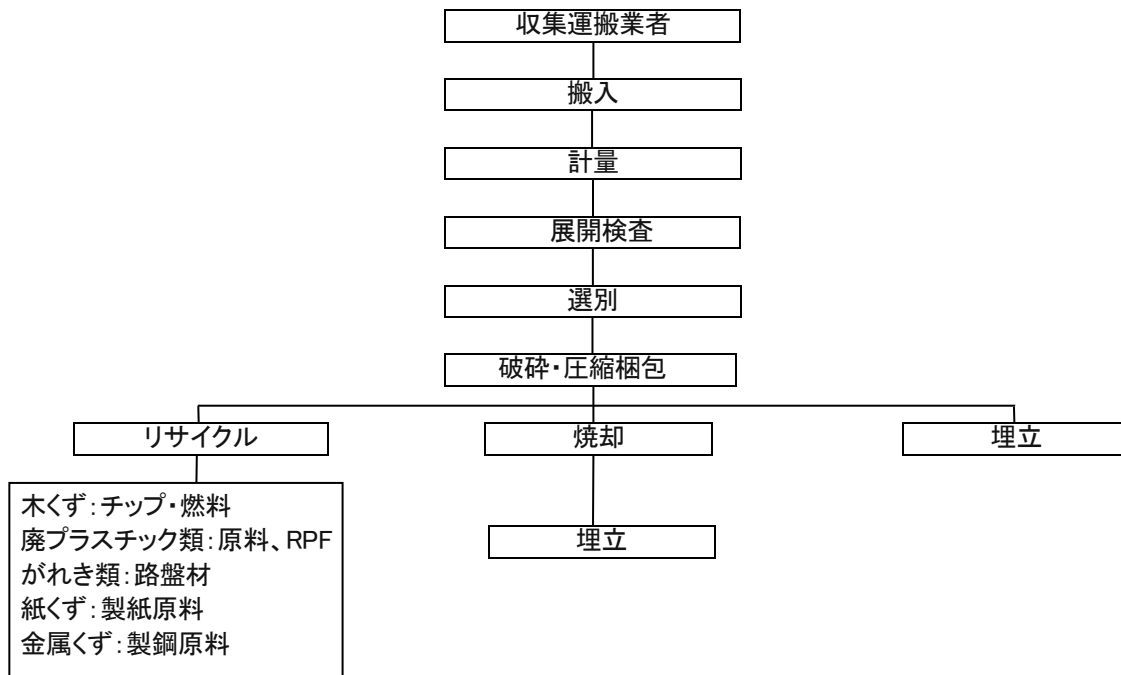
・処理能力

破碎 : 316.9t/日(24時間)

圧縮 : 134.06 t/日(24時間)

・許可品目 : 【破碎】廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・
 ガラスくず等・がれき類
 【圧縮】廃プラスチック類、紙くず、繊維くず

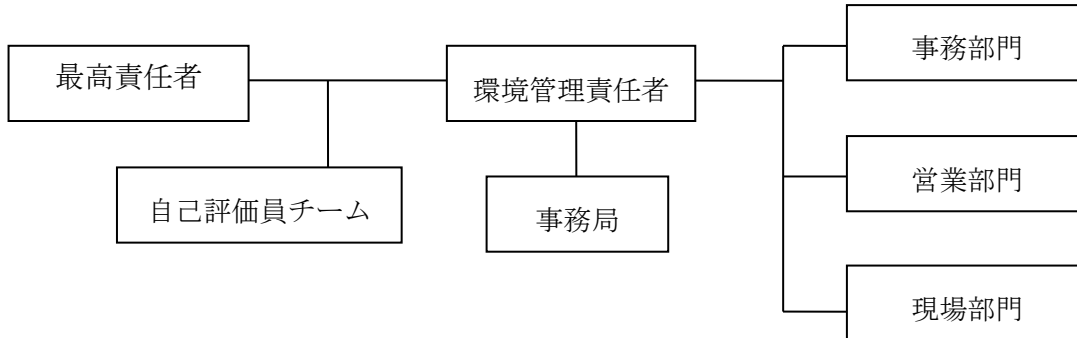
・処理工程図



(10)廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

(11)環境活動の取り組み体制



環境管理責任者： 稲垣 幸三

(TEL:059-255-0770 FAX : 059-255-0779)

2. 登録対象

(1)登録内容

M-EMS登録証:

登録日 :2XXX年00月00日

登録期限 : 2 X X X年00月00日

登録番号 : M-EMS2W-0000 KES2W-5-0000

(2)登録範囲

産業廃棄物、特別産業廃棄物並びに一般廃棄物の収集運搬及び産業廃棄物の処分(中間処理)

(3)対象事業所

本社・事務所 三重県津市戸木町焼野5416-1

中間処理施設 三重県津市戸木町焼野5416-1

積替え保管施設 三重県津市戸木町焼野5420

駐車場 三重県津市戸木町4599番1

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

株式会社 吉野興産は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

株式会社 吉野興産は、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業務（積替え保管を含む）、産業廃棄物中間処理業務に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 電力の効率改善
 - (2) 重機燃料の効率改善
 - (3) 収集運搬車両の燃費改善
 - (4) リサイクル率の向上
 - (5) 廃棄物適正処理の推進（分別方法の指導・提案）
 - (6) 会社周辺の清掃活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般に人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び津市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定するとともに、定期的に見直し環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2021年1月12日

株式会社 吉野興産
代表取締役 光友 篤史

4. 環境改善目標

2021年度以降3年間の環境改善目標
(基準年度：2020年)

環境改善目標 (最終年度の目標)		単位	(基準年度実績) 2020年度		目標値・実績		
					2021年度 (4月～8月)	2022年度	2023年度
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量 基準年度比 2%削減	kWh/年	70,915 kWh	目標 (基準年度比)	基準年度維持 (29,545 kWh)	1%削減 (70,206 kWh)	2%削減 (69,497 kWh)
				実績			
	電力使用による CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	30210 kg-CO ₂	実績			
	重機燃料使用の 効率改善 基準年度比 2%向上	ℓ/h (稼働時間 当たりの使 用量)	5.70 ℓ/h	目標 (基準年度比)	維持 (5.70ℓ/h)	1%向上 (5.76ℓ/h)	2%向上 (5.81ℓ/h)
				実績			
	車両の燃費改善 基準年度比 2%向上	km/ℓ	3.05 km/ℓ	目標 (基準年度比)	維持 (3.05 km/ℓ)	1%向上 (3.08 km/ℓ)	1%向上 (3.11 km/ℓ)
			実績				
廃棄物排出量 の削減	リサイクル率の向上 3%向上 (41%)	%	38 %	目標 (基準年度比)	1%向上 (39%)	2%向上 (40%)	3%向上 (41%)
				実績			
	分別方法の 指導・提案 3件増加 (7件)	件数/年	4件	目標 (基準年度比)	1件増加 (5件)	2件増加 (6件)	3件増加 (7件)
				実績			
清掃活動 施設周辺の清掃活動 1回/月 (12回/年)		回/年	12回	目標 (基準年度比)	維持 (5回)	維持 (12回)	維持 (12回)
				実績			

CO₂ 排出係数 : 中部電力 ; (2019 年実績) 0.426kg-CO₂/kWh ガソリン ; 2.32 kg-CO₂/ℓ

軽油 ; 2.58 kg-CO₂/ℓ

出典 : 環境省温室効果ガス排出量算定・報告公表制度

化学物質においては、その使用実績がありません。

水使用量に関しては、浄化槽や飲料水等の生活排水のみで、環境負荷が小さいため改善目標としていませんが、管理項目として取り上げ数量管理をし、削減に努めます。

また燃料使用量においては、軽油、ガソリンの使用量を管理項目として使用量管理をし、その削減に努めます。

5. 環境改善目標と実績

2021 年度 (2021.4~2021.8) 環境活動実績

環境改善目標		具体的方策	目標値 (2021.4~8月)	実績値 (2021.4~8月)	評価
二酸化炭素の 排出量削減	電力使用量の削減 基準年度比 維持管理	・空調温度の適正管理 ・休憩時間の消灯確認 ・設備の休止時電源オフ	29,545 kWh (基準年度維持)		
	重機燃料使用の 効率改善 基準年度比 維持管理	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行 ・重機の安全運転	5.70 ℓ/h (基準年度維持)		
	車両 (収運搬車) の燃費改善 基準年度比 維持管理	・車内空調温度の適正管理 ・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行 ・適正なオイル交換	3.05 km/ℓ (基準年度維持)		
廃棄物排出量 の削減	リサイクル率 の向上 1%向上 (39%)	・廃棄物管理教育の徹底 ・分別方法の見直し・決定	1%向上 (39%)		
	分別方法の 指導・提案 1件増加 (5件)	・多排出業者への教育 ・排出者への指導及び提案			
清掃活動 施設周辺の清掃活動 (1回/月)		・事業所周辺のゴミ拾い ・周辺側溝の清掃	5回	品目/年 (%向上)	

評価記号 A: 良好 (100%以上) B: やや不足 (90~100%) C: 不適合 (90%以下)

CO₂ 排出係数 : 中部電力 ; (2019 年実績) 0.426kg-CO₂/kWh ガソリン ; 2.32 kg-CO₂/ℓ

軽油 ; 2.58 kg-CO₂/ℓ

出典 : 環境省温室効果ガス排出量算定・報告公表制度

管理項目での実績

管理項目	具体的施策	項目	単位	目標値	実績値	評価
軽油使用量の削減 (重機関係)	アイドリングストップ 使用前点検 安全運転	軽油使用量	kℓ/年			
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年			
軽油使用量の削減 (収運搬車関係)	アイドリングストップ 使用前点検 エコドライブ	軽油使用量	kℓ/年			
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年			
ガソリン使用量の削減 (営業車)	アイドリングストップ 使用前点検 エコドライブ	ガソリン使用量	kℓ/年			
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年			

水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水管理 ・トイレ等の無駄な使用抑制 ・節水の啓蒙 	水使用量	m ³ /年			
自社廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別方法の再教育 ・減量化の励行 	廃棄物発生量	kg/年			

項目	単位	目標値	実績値	削減量
二酸化炭素 総排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO ₂ /年			

5.1 具体的環境活動の評価

- ☆ 電力使用量の削減では、照明や空調設備について部屋ごとに消灯や運転温度の基準を作るとともに確認のための担当者を決めて実行し、確認記録を環境管理責任者が定期的にチェックをした。
最初のうちは実行がばらついたが、次第に各人が意識し、習慣化して管理するようになっていった。
- ☆ ガソリン・軽油使用量の削減では、エコドライブに努めると共に作業方法の見直しによる作業効率の向上を図り、ガソリン・軽油使用量の削減を達成することができた。
- ☆ 廃棄物排出量の削減については、従業員の作業に関する知識と方法等の教育を徹底した。また、排出量の多い職場については、教育担当者が同行してどこが問題なのかを認識させ、再教育を実施することによって徐々に効果を上げつつある。
- ☆ 用水使用量の削減については、従来、設備の洗浄等で水を出しっぱなしで作業をするなど、無駄が多かったが作業の方法を標準化し指導を徹底した。各自節水を心がけるようになり大幅に使用量の削減が実現しつつある。

5.2 次年度の活動について及び今後の課題

電力やガソリン・軽油使用量の削減については細かい基準を作成し、徹底して管理した結果、大きな削減成果を得た。

また、廃棄物排出量の削減は即効果が表れていないが、今後更に教育等の徹底に努める。さらに、用水節減については、教育の成果が実現途中にあり、目標達成に至っていないため、本項目も教育等の徹底に努める。

次年度については、今年度と同じ目標を掲げ、レベルアップしたい。

- ・電力やガソリン・軽油使用量の削減については、創意工夫で更に実績を上げる。
- ・廃棄物使用量の削減については、昨年及び本年度の教育効果が発揮されることを

期待する。

・ 用水使用量削減については、一層の意識徹底を図り、再度チャレンジする。

尚、次年度は次の年のテーマ設定のための予備調査項目をサブテーマとして掲げることを検討している。

今後のテーマとしては極力本業に係わる内容のものを取り上げていくことを検討していく。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

7.1 全体評価

システムの構築は、一般的にスムーズに連用され、現時点で見直す点はない。

2 x x x年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に 向けて推進すること。

7.2 見直し評価

環境方針の変更の必要性については、変更せずそのまま継続する。

00事業拡大に伴い、環境活動及び環境経営システムの変更については検討していく。

8. コミュニケーション

00市が開催する0 0川の清掃活動（0月0日開催）に参加した。

00県より、技術者表彰を受けた。

施設見学を00人受け入れた。

以上